

浦臼町立浦臼小学校 校内研究紹介

校長 牧野 良信



研究主題 確かな学力を身につけ、主体的、対話的に深く学び合う子どもの育成

副 題 : ～見通す学習活動や言語活動の充実における授業改善～

教科・領域 : 見通しと振り返り、ペアやグループ学習を取り入れた全教科

本校では、研究主題から重点目標を「自分から動きだそう！みんなで伸びよう！」
～学びあい（主体的・意欲的に学ぶ子）、
支えあい（思いやり、協力しあう子）、
鍛えあい（高めあう子）を通して～

と定め、教職員みんなで共通理解、協力して研究を進めている。今年度は2か年計画の2年次にあたる。1年次は、授業の中で何を課題として学習するのかをはっきりさせて学習するよう、見通しをもった課題提示の仕方を中心に研究した。2年次は、授業のまとめ・振り返りに焦点をあて、わかったことを使って考えたり表現したりする学習を中心に研究した。また、1・2年次共通で、ペア・グループ学習を効果的に取り入れて学習することも研究してきた。どの教科においても、言語を用いて伝え合うことで、子どもたちが学び合っている姿を研究授業でも確認してきた。全員が自分から動き出せる子になるには、まだ課題も多いが、日常の児童観察や情報交流もしながら、全教職員で一人ひとりに自信をつけられるよう、安心して学校生活を送れるよう取り組んでいる。

今年度は、社会科でのプレ授業研、体育と算数の授業研の合計3本の授業研を行った。

～校長所感～

浦臼小学校では、全職員が「全ては、今 目の前にいる子どもたちのために！」という共通認識に立ち、教育実践に取り組んでいます。また、平成30年度から始まった小中一体型のコミュニティ・スクールを基軸にした家庭・地域連携、異校種連携も計画的に実施しています。

こうした各種取組との関連を図りながら、学校教育目標の具現化の方策として校内研究に取り組んでおり、これまで日常の授業実践に根ざした校内研究を心がけてきたため、一定の成果も上がっています。今後もますます研究を充実させることで、子どもにとっても大人になっても「明るく 元気で 楽しい学校」でありたいと思います。